



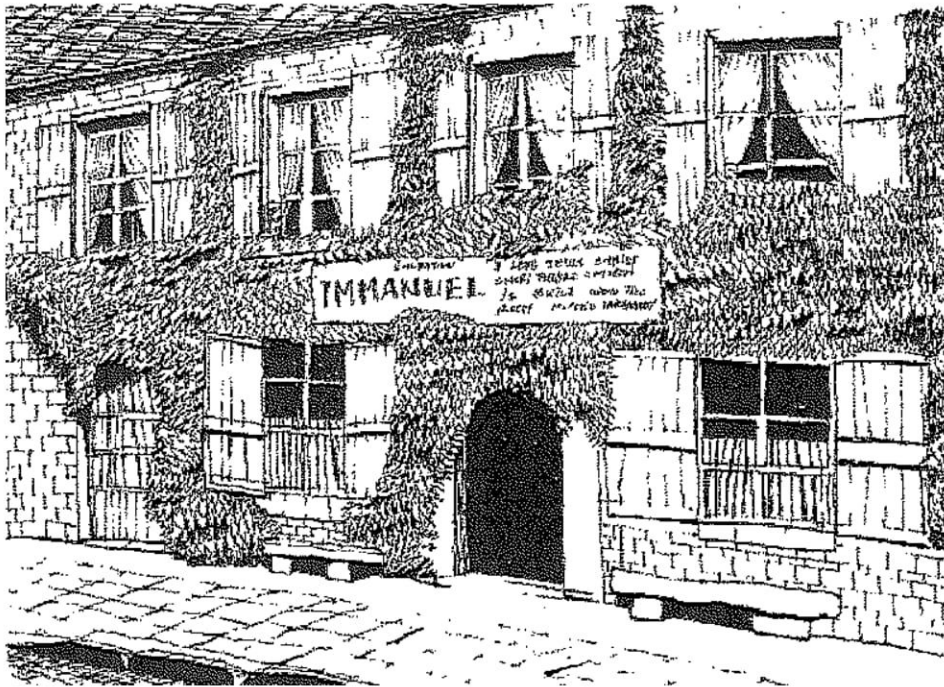
インマヌエル便り

**IMMANUEL**

「神われらと共にいる」家は常に平和なり

社会福祉法人 婦人の園  
障害者支援施設 インマヌエル  
静岡県駿東郡小山町大御神 356-7

## 広報 2014 年度版



二〇一四年の言 ロゴス

もろもろの天は神の栄光をあらわし、  
大空はみ手のわざをしめす。

この日は言葉をかの日につたえ、  
この夜は知識をかの夜につげる。

話すことなく、語ることなく、

その声も聞えないのに、

その響きは全地にあまねく、

その言葉は世界のはてにまで及ぶ。

神は日のために幕屋を天に設けられた。

日は花婿がその祝のへやから出てくるように、

また勇士が競い走るように、その道を喜び走る。

それは天のはてからのぼって、

天のはてにまで、めぐって行く。

その暖まりをこうむらないものはない。

主のおきては完全であって、魂を生きかえらせ、

主のあかしは確かであって、無学な者を賢くする。

(旧約聖書 詩篇

第十九篇 一節〜七節引用)

私の内なる  
「差別」とのたたかい

理事長 坂本 直司

一 子どもの時代

軍国主義の時代で、家族制度による差別が強く記憶されています。私は、長男に生まれましたので、男女差別の中でも優位に育てられたのではないでしょう。家長を継ぐ者として、自覚と責任と共に権威みたいなものを持たされた様に思われます。戦後、人知れずこの差別に悩んだことが思い出されます。また、日本人としての誇りを持たされた教育のためか、民族的差別を中国人・朝鮮人の方に、特に持たされたと思われれます。現在、戦後七〇年近くになったにも拘らず「慰安婦問題」が解決されないのも、根はここにあるのではないのでしょうか。「ヘイトスピーチ」と呼ばれ、国際問題になっているのも同じではないでしょうか。

二 青年時代

戦後、民主主義の時代に代わり、男女差別・階級差別（部落民族差別）が撤廃され、貧困差別・宗教差別も徐々に解消されて、一見、自由と平等の精神が行き渡ったかに見えます。しかし、障害者差別は、やっと最近法的に国際レベルに達したところ です。

私は、軍国少年から脱却することに努め、「船を造るより人を創ろう」と発心して、造船界から小学校教育に転じました。また、更に教えるの中に「知的障害児」が三人いて、十分な教育もできず卒業させて、悔いが残りました。たまたま、区内に知的障害児の学級が開設されることとで、幸いに担任になることが出来ました。昭和二八年、二六歳の時でした。以来、六〇年余り障害者と主に過ごしてきました。

三 現在と未来

生きて行くことが、いろいろな差別とのたたかいであることを、

ひしひしと感じています。インマヌエルの毎日の生活を通して、また、社会に向けての移転問題を通して、自分自身の内なる差別とのたたかいであることを痛感して止みません。弱い者への差別としての「いじめ」もなくなりそうもありません。私の人生の使命は、「自分自身への道を歩むこと」（ヘルマン・ヘッセ）であると信じて生きています。自分自身の内なる差別との戦いも絶えず問われていると思います。差別のない世界は、果たして来るでしょうか。恐らく来ないでしょうが、少なくとも、目指す努力は毎日すべきでしょう。こう、自分に言い聞かせ、励ましている昨今です。

（二〇一四年八月一五日）



2014年11月17日  
天に召されました。

三十三年目の秋

施設長 舟木 昭夫

雨上がりの早朝、樗並木を散歩していると、樗の大木のそれぞれに、きまつて蝸牛が何匹もはりついているのを見る。ひっそりとした自然の中の営みに、何かほっとした懐かしさをおぼえる。初夏の日没頃から、インマヌエルのグラウンドの端に、時たま鹿が四〜五頭、多い時には七頭くらいが、餌を食みに出てくる。餌が少なくなつて止む無く山から出てくるのだろう。何年か先には、新東名がこの地を通り、こういう光景も見られなくなると思うと寂しい。

さて、日本も二〇一四年一月、障害者権利条約を批准し、共生社会の実現に向けて新たなスタートを切った。二〇一六年四月からは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障

害者差別解消法」）が施行される。福祉ニーズが多様化、複雑化している中で、規制改革に伴って、近年、異業種からの福祉への参入が多くみられる。その結果、最近、社会福祉法人に対する課税の話や、社会福祉法人の社会貢献活動について多く耳にするようになった。厚労省内に設置されていた「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」が二〇一四年七月最終報告書を取りまとめた。この中で、変革のキーワードとして、以下の六点が上げられている。

一・選択と自己決定（利用者本位）、  
二・社会福祉法人が支える地域福祉・在宅福祉の充実、三・効率性の追求、四・透明性の確保、五・苦情解決のシステム構成、六・第三者評価等。また、社会福祉法人の活性化に向けては、公益性、非営利性、継続性、先駆的・開拓的事業展開が挙げられている。

社会構造の変化に伴って、自ずと社会が求めるものも変化していくのは当然であるが、法人創設時の

理念、創設者の想いは、今こそ再認識され、継承されていくことが極めて重要であると考える。全面的な施設移転（※まだ代替地は決定していない）は、「社会福祉法人婦人の園インマヌエル」にとって、良き再スタートの時となると信じている。地域にとつても、なくてはならない施設になりたい。そのためにはまず、目の前の五〇名の利用者さん一人ひとりのかけがいのない人生に、我々が、どれだけ深くかわっていけるか、どれだけ真剣に、親身になっていけるかが勝負だと思っている。

『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ。』

マルコ一二―三一



インマヌエルの支援  
〜寄り添い  
共に生きる者として〜

副園長 高橋 頼太

「インマヌエルの支援とは？」と問われたら何と答えるのだろうか。「それは、寄り添うこと、共に生きることです」と答えるべきだろう。何故ならこれがインマヌエルの支援の根幹をなし、インマヌエルのすべての支援の基本となっているからである。就労支援、地域移行、相談支援、自己決定支援、介護等これらを実行するためにも寄り添い共に生きる支援は基本になければならない。

「寄り添う」とは、目の前の人を受け入れ、その人が望むことを理解しようと努め、その事柄を本人中心で行うことができるよう工夫し実行することと考える。また、「共に生きる」とは、同じ人として生まれ、違う人として素晴らしい

ことを尊重し合い、お互い支え合いながら歩んで行くことだと考える。

しかしそれは、言葉で表現するのはとても簡単なことであるが、その支援は容易ではない。理不尽な出来事に気分を害したり、お互いが受け入れがたい関係になってしまったり、感情が揺さぶられてしまうことは日常的に起こってくる。そんな中でインマヌエルの大切にする支援を基本として実行していくことは無理にも感じられるものである。

坂本理事長はよく引用して言われる「みんな違ってみんないい」とこの言葉は障がいのある方々だけに向けられた言葉ではなく、我々すべての人にも向けられている。違いのある他者がお互いの違いを認め合い、求めている事柄に対し進んでいく。これは実は人が人として生きていく上では必須の事柄であり、多くの人が無意識で経験しそれによってより豊かに生活を送っているのではないかと思う。

親から生まれ育てられたこと、親友を得たこと、愛する人を得たこと、子を育てたこと。

決して他者に寄り添い共に生きることは無理ではない。それを仕事として選び実行していくことは険しく困難であるが、その先にある喜びを共に実感してきた経験を大切にし、今後も「寄り添い共に生きる」支援を基本にインマヌエルのみんなと支え合いながら進んでいく。

終わりに、終始抽象的で雲を掴むような文書であることをお許し願いたい。これが今私の表現できる「インマヌエルの支援」である。



## インマヌエルの支援

支援部長 高橋 みどり

先日、泊まりこみの施設実習をした学生さんたちから、「インマヌエルでは利用者さんと職員さんが対等な感じがします。」と言われた。毎日くりひろげられる様々なやりとりを見て、そう感じてもらえたのだからうれしい。

確かにインマヌエルでは、利用者さんたちが友達にするように、職員に声をかける。そして、ゆかいな会話がすぐに聞こえてくる。

利用者と職員という立場の違いはあるけれど、でも人として根っこのあるところでは何も変わらない。そのことにお互い気づいていることがインマヌエルの強みだろう。そしてつけ加えるなら、利用者さんたちの方が職員の本音に敏感で、職員の弱さもたくさん知っていて、それでいて寛容だ。きっと職員は

皆、助けられた経験を持っているはずだ。

だから、インマヌエルの職員になるための要件の一つは「利用者さんについて、楽しい、うれしいと思えること」。人は皆、自分を必要と感じてくれる人と一緒に生活したいと思っっているはず。それを抜きに本物の支援はないのではと思う。インマヌエルの支援は力不足なところも多いのだけれど、高齢化のこと等々課題も山積みだけれど、利用者さんたちに助けられながら、一緒に前に向かっていきたい。



# インマヌエルの1年

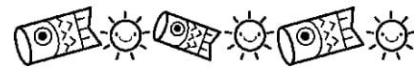
<2013年10月~2014年9月末まで>

## 10月



10月6日 ふれあい広場  
10月14日 インマヌエル祭

## 5月



5月10日 フットサル大会  
5月16日 運動会  
5月23日 女子生活班の日  
(ヤクルト工場見学)  
5月28日 ヨモギ団子づくり



## 11月

11月5日 芋掘り  
11月8日 芋パーティー  
11月16日~22日 秋期バザー  
11月23日 ご苦労様会・点火式

## 12月



12月1日~ 聖誕劇稽古開始  
12月3日・6日 キャロリング  
12月22日 クリスマス礼拝  
・晩餐会  
12月25日 第32回聖誕劇  
・立食パーティー  
冬休み 12月29日~1月13日

## 6月



6月3日 バス旅行  
(富士花鳥園)  
6月16日 女子生活班の日  
(樹空の森)  
6月20日 蛍観賞



## 1月

1月5日 新年礼拝  
1月13日 餅つき大会

## 7月



7月1日 男子生活班の日  
(河口湖)  
7月8日 七夕  
7月22日 プール開き

## 3月



3月3日 ひな祭り

## 8月



夏休み 8月3日~18日  
8月6日 夏休みお楽しみ会 女子  
8月12日 夏休み外出 男子



## 4月

4月16日 潮干狩り  
4月20日 イースター礼拝  
4月29日 32周年創立記念日  
立食パーティー・記念講演会

## 9月



9月3日 山中湖畔礼拝  
9月13日 フットサル大会  
9月16日~18日 宿泊旅行



# インマヌエルの作業

《男女合同で作業ができるようにグループ分けをしています》

## 養鶏班

仕事への意識向上を目標に作業に取り組んでいます。  
毎日、餌やり・水の交換・集卵・卵磨き・巣箱の整理  
・鶏糞出し・穴掘り・野菜受け・野菜切りを行なっています。

### 参加メンバー

- ・高橋武人さん
- ・引間光明さん
- ・近谷貴英さん
- ・碓井久夫さん
- ・石塚英夫さん
- ・田原眞さん
- ・松田信男さん



## パン工房

本人の意欲向上と、インマヌエルを知ってもらう事を目標  
に作業に取り組んでいます。  
粉の計量・パン焼き・洗い物・袋詰め・販売などを行なっています。

### 参加メンバー

- ・高村昭彦さん
- ・近谷貴英さん
- ・松田信男さん
- ・深野牧子さん
- ・相澤順子さん
- ・長坂美子さん



# 作業棟班

「よりよい作品作りを目指し、販売する事の喜びを知る」  
を目標に作業に取り組んでいます。

ビーズ・織物・木幹・刺し子・編み物を行なっています。

## 参加メンバー

- 木工・木幹
  - ・提箸満さん
  - ・天野晃一さん
  - ・沼倉仁さん
  - ・足立典洋さん
  - ・橋本以恵子さん
  
- ビーズ
  - ・岡田真司さん
  - ・武田信行さん
  - ・大久保悠理さん
  - ・多胡義晴さん
  - ・三沢明子さん
  - ・堀内和子さん
  - ・落合由美さん
  - ・谷口昭子さん
  - ・桐谷綱恵さん
  
- 織物・刺し子・編み物
  - ・奥野慎太郎さん
  - ・杉原春美さん
  - ・高橋恵子さん
  - ・北浦幸子さん
  - ・相澤順子さん
  - ・深野牧子さん
  - ・斉藤富士子さん
  - ・長坂美子さん
  - ・清水久子さん
  - ・石川たまさん
  - ・佐伯美枝さん





## イエローハット

「楽しく作業に参加しよう」を目標に作業に取り組んでいます。  
和紙作り・キャンドル作り・ビーズ・貝殻つぶし作業を中心に  
行なっています。

### 参加メンバー

- キャンドル作り ・小林仁一さん ・林忠洋さん ・湯山ゆかりさん  
・山崎孝子さん ・北川綾美さん
- 和紙作り ・堀野智さん ・駒野敦さん ・内藤武美さん  
・村田治稔さん ・三浦浩さん ・比留間京子さん  
・杉山順子さん ・小畑みどりさん
- 貝殻潰し ・石井純一さん ・柳澤武さん
- ビーズ ・長部俊江さん ・斉藤笙子さん



## なんでもショップ

地域の方とのふれあいを大事にしながら、  
リサイクル商品を販売しています。

- 参加メンバー ・石川たまさん



## 厨房

厨房のお手伝いを頑張っています。

- 盛り付け・ヤカン・モップ掛け・玉ねぎ剥ぎ ・佐伯美枝さん
- 皿洗い ・石塚英夫さん

## 徳風園・平成の杜ボランティア

週1回～2回、お掃除に行っています。

- 参加メンバー
- ・斉藤富士子さん ・深野牧子さん
  - ・山崎孝子さん ・杉原春美さん
  - ・高橋武人さん ・田原眞さん



## インマヌエルは 次世代型の集落へ

川西 康之

建築家・デザイナー・  
ファシリテーター・  
株式会社イチバンセン  
代表取締役



一．はじめに

インマヌエルの移転計画に係る支援を担当させて頂いております。川西康之と申します。二〇一二年一月頃からインマヌエルの皆さまとは、保護者の方からのご紹介を切っ掛けにお付き合いさせて頂いております。

これまで私は、建築家として駅や医療施設の建築設計のほか、街づくりや商業施設の事業運営支援を仕事にして参りました。「インマヌエルの移転計画について相談に乗って欲しい」とお声をお掛け頂いた当時、私は障害者福祉については全くの素人同然でした。しかしながら、インマヌエルの皆さまのお話をお伺いして、現在の障害者福祉施設が抱える課題は、日本の地方都市が抱える課題や不安の縮図のように思えました。

そこで私は、インマヌエルの移転計画を機に、多様性を認め合える次世代型の集落を目指さねばならないこと。その集落には様々な人々を国内外から招き、様々な職業や立場を創り出すこと。富士山麓という素晴らしい環境を最大限に活かすことを初期の段階で申し上げました。

二．ヒューチャー・セッション

そうして、インマヌエルの利用者の皆さまとスタッフの皆さま、

周辺地域の皆さま、パートナー候補の皆さまを巻き込んで「ヒューチャー・セッション」を実施させて頂くことを提案し、未来に向けた課題点の整理と共有を目指す業務、建物移転に係る候補地選定支援、敷地調査と説明補助、法令や条例等の確認、基本構想立案、類似例の視察、事業パートナーの交渉などの業務を今現在も同時進行しています。

とりわけ「ヒューチャー・セッション」という議論の進め方は、この二年間で大きな成果を上げつつあります。通常、建物の移転・新築という大きなプロジェクトの場合、一部責任者と設計者だけでモノゴトを決めて、現場スタッフからは一応「意見と希望があれば言ってください」という、一方通行のコミュニケーションがある場合がほとんどです。このような方法で急いで計画を進めると、建物が完成してから現場から不満の声が上がり、新しい建物の彼方此方に不満と過剰が発生してきた事例を、私は多

く見てきました。すなわち、生活や労働の空間が根本的に変わるのに、その空間の主役となる人々が「自分のプロジェクト」に成り切れていなかったのです。これは悲劇であり、民主主義国家のデザインとは言えません。

「ヒューチャー・セッション」では、まず最初に課題を設定し、その課題解決に向けて参考になる話題提供をします。例えば、先進的な福祉施設の事例紹介のほか、新東名高速道路がもたらす新しい時代、小山町が目指す福祉の未来、大道芸ワールドカップ静岡がもたらした地域活性化など、外部からも話題提供して頂ける方々をお招きしました。その話題を聞くだけではなく、その感想やインマヌエルの課題を少人数のグループで話して頂きます。その会話で出たキーワードを全て小さな紙にメモをして、ホワイトボードに書き出し、全員で共有します。つまり、その場にいる人たち全員の声を、効率的に認知できるのです。大事なことは、ど

んな小さな声でも意見として拾い上げるシステムであることです。

このような取り組みを続けたことで、利用者さんやスタッフの皆さんから最近、「こうしたい」「こうあるべき」という声が、驚くほど数多く寄せられるようになりました。当初は、生活環境や勤務環境への不平不満が多かったのですが、現実と未来の課題点を共有することで、自らの立場や役割を皆さんが認識しつつあるのだと思います。この点は計画を進める上で非常に重要です。

### 三．事業パートナーと情報発信

手厚い福祉政策を長年続けてきたデンマークやスウェーデンなど北欧諸国と、我が日本の福祉環境を比較すると、日本はまだ半世紀以上の遅れがあると言われます。一方で、日本は一千兆円以上の借金を抱えており、福祉に対する助成等は今後とも一層厳しくなるものと思われれます。福祉の現場も、税金を貰う側から「税金を納める側へ」

という掛け声のもと、日本でもいくつか先進的な取り組みを始めた福祉法人があります。彼らの先進的な現場を実際に見て、ヒアリングをすることは、移転計画を進める上で「新しいインマヌエルで、どんな新しい事業に取り組めるか」を考えることは非常に重要です。

これまで、こころみ学園（栃木県）、青梅学園（東京都）、アート千代田 3331（東京都）、やまなみ工房（滋賀県）、アートギャラリー NO.1 333（滋賀県）、たんぼぼの家（奈良県）、はあとフレンズストア（京都府）などをインマヌエルの皆さまと一緒に視察・ヒアリングしました。川西単独では、アートセンター 画楽（高知県）、藁工ミュージアム（高知県）、しょうぶ学園（鹿児島県）、アール・ブリュット美術館（スイス）、ベアテル（ドイツ）、福祉作業所ジゾ（オランダ）、エグモント学校（デンマーク）、ランズビュン（デンマーク）、アール・ブリュット・ギャラリー（フランス）などを別件出張と併せて訪問・ヒアリン

グしました。その度に、すべての施設担当者に「ぜひインマヌエルの新しい取り組みにチカラを貸してください」とお願いしてまいりました。また、千葉大学やスイス連邦工科大学などの研究機関にも連携をお願いしております。

とりわけ、障害者によるアート＝ール・ブリュットを活かして、それを企業と組んで商品開発に結び付ける「Good Job!プロジェクト」(たんぼの家が事務局)には私たちが大きく注目しています。通常、福祉作業所が作る賞品はあまり魅力的ではなく、一般の流通経路では売れません。すると在庫を抱えてしまい、利用者さんにも健康者並みの賃金を支払えず、事業としては破綻している場合がほとんどです。そこで「Good Job!プロジェクト」では、ール・ブリュットを、福祉施設のスタッフが利用者さんの良いところを引き出すプロジェクトを、トヨタ自動車やコクヨなどの企業が作る製品にグラフィック・デザインとし

て売り込み、企業の製品として販売するものです。ール・ブリュットにはコンピューターが描く絵にはない魅力があり、独創的な商品を開発したい企業のニーズと重なるのです。企業の研究所や工場が多く集まる静岡県において、インマヌエルがこのプロジェクトに乗らない手はありません。

いま、インターネットを使えば、非常に安いコストで知恵と情報を発信し、共有することが可能な時代です。事業パートナー発掘と情報発信は、建築計画と同等に重要だと認識しています。

#### 四・新しい建築計画

現在のインマヌエルの敷地は、新東名高速道路の小山パーキングエリアおよびスマートインターチェンジの予定地です。新東名高速道路が二〇二〇年度末に開業予定で、その四年前となる二〇一六年度末には現在地を更地にして、中日本高速道路株式会社に譲渡することになっていきます。ところが、現

在地の大きさは約二万平方メートル、床面積でも三千平方メートルもの規模があります。今現在、利用者さんの生活空間は相部屋ですが、現在の関係法令に従えば、原則として新しい建物では「個室」でなければなりません。そうすると、新しい建物の床面積は現在のさらに一・五倍以上必要になります。このような大規模な建築は、他の事例を参考にすると、設計期間一年以上と工事期間一年以上必要になります。しかしながら、今現在(二〇一四年一月中旬時点)において、残念ながら移転先の敷地すら確保できていません。

私たちをはじめ、中日本高速道路株式会社や行政関係機関にも一杯ご支援頂いているのですが、地域住民の理解と説得は本当に困難を極めております。私どもでは、関係法令の整理と解釈、住民説明の説明および資料には一層のレベルアップを続けており、粘り強く移転計画を進めてゆきます。

移転先候補地が確保され次第、

建築計画と行政手続き等は急に進むものと思われまますので、皆さまのご協力・ご理解、そしてヒューチャー・セッションへのご参加をお待ちしております。

### 五・ 未来へ

二〇一七年ごろには富士山麓のどこかで、インマヌエルの皆さまは新しい生活を始めています。そこには、単に新しい建物があるだけでは不十分です。利用者スタッフの皆さま、周辺地域の住民や企業の皆さま、富士山を訪問した国内外からの観光客の皆さまなどが、世界で最も先進的な「共に生きる」集落を目指さねばなりません。

そのために、私どもは移転計画にこれまでの全てのノウハウを投入し、建物完成後もインマヌエルの皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さまと、ずっとお付き合いさせて頂くつもりでおります。今後とも宜しくお願い申し上げます。



artbrut



bethel

### 写真注釈

#### bethel

ドイツ西部・ビーレフェルト市の福祉都市「ベートル」で働く利用者さんたち（本人および責任者の許可を得て撮影）。キリスト教・福祉・医療の総合団体であるベートルの理念は「希望がないという単語はない。施しよりも仕事を創れ。人間は全て障害者である。」であり、現在ベートル地区内だけで農業、医療、販売、教育など数百の職業に三万人が従事しており、世界有数の福祉・医療の最先端都市だ。インマヌエルが目指すべき未来とは、これではないか。

#### artbrut

スイス西部・ローザンヌにある「アール・ブリュット（障害者による芸術）美術館」は、アール・ブリュットにおける世界の頂点であり、所蔵品には日本人芸術家も多い。富士山麓に位置するインマヌエルも、ローザンヌを目指したい。

**北浦幸子**

楽しくすごしたい。

**北川綾美**

たくさんお話をしよう。

**高橋恵子**

歯をしっかり磨きましょう。

**三沢明子**

友達と仲良く過ごそう。

**山崎孝子**

自分の周りの片づけを頑張ろう。

**落合由美**

将来に向けて自分の生活をしっかり頑張ろう。

**橋本以恵子**

係仕事を無理せず頑張ろう。

**深野牧子**

無断外出しない。困った事があったら職員に言う。

**利用者さんの  
生活目標・女子**

**石川たま**

自分なりのペースで前向きに一步一步あゆみ続ける。

**長部俊江**

服の着替えをがんばる。

**堀内和子**

お風呂セットを自分で用意しよう。

**小畑みどり**

楽しい事を見つけて参加しよう。

**佐伯美枝**

遅刻しないで厨房の仕事を頑張る。

**杉山順子**

皆の輪に入って遊ぼう。

**長坂美子**

皆と仲良くしよう。

**比留間京子**

みんなの中に参加しよう。

**斉藤富士子**

皆と喧嘩をしないように仲良くする。

**相澤順子**

身のまわりの整理整頓をしよう。

**清水久子**

穏やかな生活を送れるようにする。

**谷口昭子**

季節にあった服装をきちんとしてしよう。

**桐谷綱恵**

楽しいことを色々やってみよう。

**斉藤笙子**

自分のペースで頑張ろう。

**湯山ゆかり**

たくさんお話をしよう。

**杉原春美**

積極的に行事等参加しよう。

## 利用者さんの 生活目標・男子

**足立典洋**  
健康に気をつけて楽しく生活しよう！

**天野 晃**  
外出の機会を増やし、おしゃれな洋服を着よう！

**石井純一**  
皆と仲良く生活し、笑顔の多い生活を送ろう！

**石塚英夫**  
皆に優しくしよう！

**碓井久夫**  
係仕事を頑張ろう！

**大久保悠理**  
皆と仲良く過ごし、落ち着いた生活を送ろう！

**岡田真司**  
思っている事を声に出して伝えられるようになるろう！

**奥野慎太郎**  
整理整頓を頑張ろう！

**駒野 敦**  
健康に気をつけて笑顔の多い生活を送ろう！

**小林仁一**  
服の着替えをがんばる！

**高橋武人**  
園外の作業も頑張っていこう！

**高村昭彦**  
工作の作品（ジオラマ）をたくさん作る！

**近谷貴英**  
自分がされて嫌なことは人にしないようにしよう！

**提箸 満**  
お部屋の掃除を頑張ろう！

**田原 真**  
しいたけとシーツ交換を頑張る！

**武田信行**  
毎日の着替えを頑張ろう！

**多胡義晴**  
自分でできることは自分の力で頑張ろう！

**内藤武美**  
健康に気をつけて楽しく生活しよう！

**沼倉 仁**  
係仕事（お昼の鐘鳴らし）を頑張ろう！

**林 忠洋**  
いろんな人とたくさん話をしよう！

**引間光明**  
先生と一緒に洗濯物の仕分けを頑張る！

**堀野 智**  
人の話をしっかり聞いて、落ち着いて行動しよう！

**松田信男**  
掃除を頑張りながら、しっかり生活をする！

**柳澤 武**  
お手伝いを頑張ろう！

**三浦 浩**  
落ち着いて外出や旅行に参加しよう！

**村田治稔**  
物を大切にしよう！よう！







# 思い出 ページ





# 行事報告

2013年10月14日  
**インマヌエル祭**

今年も、沼津ウインドアンサンブルさんや YASUZEN に演奏で盛り上げていただきました。なんでもショップや模擬店にも力を入れ、みんなで力を合わせる事が出来ました。



2013年12月3日・6日  
**キャロリング**

あすなろさん等の高齢者の施設を中心に訪問しました。皆でクリスマスの歌を賛美しました。



2013年12月25日

**第32回 聖誕劇**

今年もインマヌエルの中庭で劇を行いました。寒い中猛練習を重ね、一人ひとりがそれぞれ自分の役を全うし、良い劇にすることが出来ました。



晩餐会

2013年12月22日  
 厨房さんの手作りステ  
 キ・ケーキを堪能しました。



2013年12月25日 立食パーティー



イースター礼拝  
 2014年4月20日

今年も、法人本部大森  
 福興教会で礼拝を行  
 いました。

2014年4月29日  
 32周年創立記念日  
 ・立食パーティー  
 中庭でガーデンパーティーを  
 行いました。今年は、午後に講  
 演会が開かれました。



静岡県議会議員  
 池谷晴一様



第三者委員  
 小野和枝様  
 高田村子様  
 山口敏子様



# 運動会

- ◇ 2014年5月16日
- 今年も各組の応援合戦を始め、たくさんの種目で盛り上がりました。



## バス旅行

2014年6月3日

今年、『富士花鳥園』へ行きました。天候にも恵まれ、花を見たり鳥と触れ合うことができました。昼食は、『ほうとう不動』でほうとうを美味しく頂きました。

## 宿泊旅行

2014年9月16日～18日

今年も、修善寺『ホテル滝亭』で2泊3日させて頂きました。2日目は伊豆三津シーパラダイスで海の生き物に触れることも出来ました。最終日は、『食事処三條』にておいしい食事を頂きました。



ご父兄からの寄稿

『今までを振り返って』

石井 君代

息子、純一がインマヌエルにお世話になってから早十一年が過ぎ、二三才だった息子もまもなく三五才になるうとしています。父親の仕事の都合で5才までは奈良市で過ごし、その後の転勤で上京し、武蔵野東学園に入園して、専修高校までの十四年間を過ごしてきました。活発で音楽や体育の好きな息子で、家族で支えあって頑張ってきました。しかし、作業所入所して3年後あたりから、息子の心になんらかの変化があったのか、作業や処々のストレスなどで、度々、パニック行動や通所拒否を起こすようになってしまいました。私の手には負えない状況になってしまい、私はすっかり体調を崩してしまいました。そんな折、武蔵野市福祉課

より貴園を紹介していただき入所することが出来、有難かったです。その時のことを、つい昨日の事のように思い出します。以来、愛情をもって接して下さっている先生方には、感謝申し上げます。特に遠方まで病院受診などの診察に付き添っていただき有難うございます。色々、大変な事が多々あると存じますが、今後とも宜しくお願い致します。

面会日に私たち家族をみつけると、まっすぐに走り寄ってきてくれる息子の笑顔がなによりも嬉しです。



『新たな発見』

長坂 俊宏

長坂美子は、次女として札幌に生まれ、私とはちょうど十年の年齢差があります。三年程で西宮に引っ越し、さらに四年後に東京に来ました。その頃には、就学児でしたので、立川養護学校に行っていました。その後、ご縁があり、市から紹介されたこちらのインマヌエルで暮らすことになりました。母親が二〇一〇年の正月に突然他界してしまいうまで、殆ど美子のことは母親に任せっきりでありました。インマヌエルを初めて訪問させていただいた時には、都市部の多くの福祉施設の敷地とは段違いの規模に新鮮な思いがしました。

美子が帰省してきた時に意外な思いをしたのは、本人がマンガ好きであることを知ったことでした。どこまで文字を追って、本当に理解して読んでいるのかどうか分からない側面もあり、また、テレビの影響である可能性もありますが、

こんな言葉をどこで覚えたのか、と思うことがあります。面会日などでも、職員の人たちと遠慮会釈のないやりとりをしているのを傍らで耳にした時にも感じました。普段、限られた家族とのありきたりの会話だけではなく、大勢の第三者と話す機会はどうしてもこういう集団生活でしか得られないものであるだけに、そういう機会が常日頃あるだけでも精神面でも本人には寄与する部分が多いのでは、と思っています。

高橋聖子先生から「障害を抱えた子にも意外な能力を見せつけられることがある」旨のお話を聞かされましたが、まさにそのような事を美子からも何度か経験しています。外出時でもムーミングッズを見つけてくることに関しては、実にござといところがある事も新たな発見でした。エスカレーターでデパート内を移動している時にさえ、大人でも気がつかないこじんまりしたグッズ販売店を途中階で見つけたりします。

今ではすっかり家族とよりもこちらの職員の方と過ごす時間のほうが長くなっています。今後もよろしくお願ひ申し上げる次第です。



### 『インマヌエルに想うこと』

小畑 城二

平成五年五月、集富先生との出会いが娘、みどりのインマヌエルにお世話になるきっかけでした。

港区の養護学校を卒業し、通所施設に通い始めて二か月がたち、本人のこれからの事を考え、関東一円の知的障害者施設を妻と二人

で探し回っていました。しかしながら、なかなかみどりに合う施設、又、私達が納得できる施設は見つかりませんでした。そんな折、養護学校の先生と集富先生が知り合いであったことから、品川駅前でお会いしました。養護学校の先生から、園の詳細な情報を聞かせていただいたこと、信頼できる施設である推薦があったことから、インマヌエルに入所を希望しました。入所が決まり、妻と二人で喜び合ったことを思い出します。集富先生との

出会いが、みどりの、そして私たちの今があります。集富先生のご健康回復を願っています。





# 厨房だより



こんにちは (\*^\_^\*)

暑い夏も利用者の皆さん、食欲もあり元気に過ごしております。

今年は、皆さんに好評の『インマヌエルの行事食』を紹介します。

1月1日 元旦



おせち料理  
黒豆、紅白かまぼこ、昆布巻き、雑煮

1月12日 餅つき大会

あんこ、きなこ、大根おろし



2月14日 バレンタインデー

オムライス、温野菜サラダハート型、コンスープ、ゼリー  
おやつ：ハート型チョコレート

3月3日 雛祭り

太巻き寿司、おいなりさん  
おやつ：さくらもち



4月29日 創立記念日

パーティー食  
にぎり寿司、豚骨ラーメン、天ぷら、牛もものたたき、チキン南蛮、赤飯、ローストポーク、豚バラ肉の香味ロースト、肉団子のもち米蒸し、海の幸豆腐グラタン、鶏のトマトソースがけ、生春巻き、サラダ、かに玉ふわふわスープ、フルーツ盛り合わせ、ケーキ4種、ゼリー2種

5月16日 運動会

2年続けて手作り弁当  
今年はカレー、サラダ、スープ、ゼリー



7月7日 七夕

天の川そうめん、天ぷら



10月13日 インマヌエル祭

かきあげそば、うどん、赤飯、ポテトフライ、からあげ、パウンドケーキ3種、プリン2種

12月24日 クリスマスイブ

骨付きもも肉（ローストチキン）、卵豆腐、野菜スープ



12月25日 聖誕劇

パーティー食  
サーモンのアルメット、中華前菜、牛タンシチュー、ナポリタン、いなり寿司、トマトクリームパスタ、赤飯、グラタン、豚肉の香味ロースト、クラムチャウダー、アスパラまるごと肉巻き、シーザーサラダ、ローストチキン、ローストビーフ、オードブル（鶏のからあげ、カナッペ、ミニピザ、フライドポテト）、サラダ、フルーツ盛り合わせ、生クリームヨーグルト、パンプティング、フルーツタルト、バナナケーキ、生クリームのヨーグルト



12月27日 晩餐会

ステーキ、マッシュポテト、サラダ、ロールパン、スープ、シャンメリー、イチゴのケーキ

他に毎月、誕生日会の時にデザートなど、皆さん楽しみにしている食事を、厨房一同、心をこめて作っています。



# ほけんだより

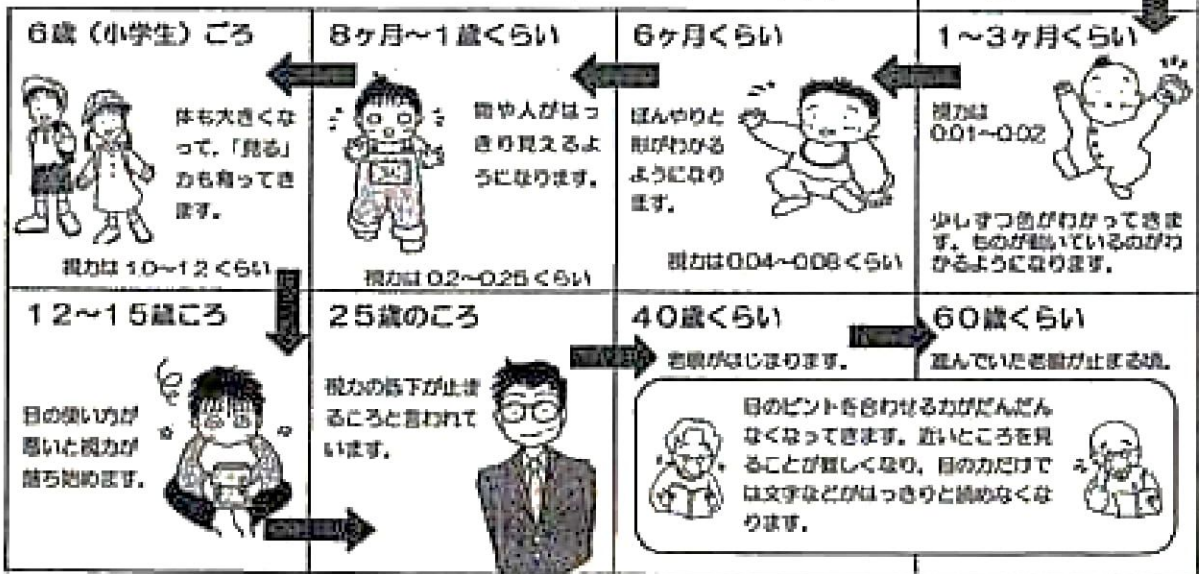
10月10日目の愛護デー  
大切な目  
普段からケアしてあげてね

目の一生

私たちが毎日使っている目は、どんな一生を送っているのでしょうか？

生まれたばかりの  
あかちゃん

明るいやつを見ます。白と黒の明かりだけの世界です。



## なぜ目は2つ

目はなぜ2つあるのでしょうか？それは遠近感を得るためです。片目では物の色や形はわかって、物の奥行きや場所などを正確に見分けることができないのです。たとえば、片目に眼帯をしていると、遠近感がわかりづらく階段を下りるのも恐くなります。

同じものを見たときでも、右目で見たと左目で見たとでは、位置が少しずつ違いそれぞれ別々の像が映っています。この2つの像が神経を通過して脳に伝わると、脳の働きで2つを重ね合わせ1つの像にします。これによって、遠近感が得られ、物が立体的に見えるのです。





## 新入職員の紹介

「宜しく願います」

飯島 凌

四月より支援員としてお世話になっていきます。

入社して約五か月が経ち、やっと園生の方々に名前を憶えて頂けるようになりました。

前職では、違う支援施設で働いていましたが、今回御縁があり、今年度からインマヌエルで働かせていただいています。

私のモットーは、一人一人に寄り添った支援です。

園生の方々それぞれの個性を大事にした支援をしていきたいと考えています。

また、悩む事などもあると思いますが、一日一日を園生の方々と楽しむ事を第一に頑張っていきたいです。

まだ二一歳と経験、知識などは

まだ乏しいですが、毎日を勉強だと思いつながら精一杯努力していきたいと考えています。

これから園生の方々が充実した生活が送れるように頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。



「よろしく願います」

矢巻 清美

今年の六月下旬よりお世話になっております。

一日一日が早く、気が付けば三か月近く経ちました。

初めてな事ばかりで戸惑いや、

不安だらけではありますが、周りの職員の方々が丁寧に指導して下さったり、園生の皆さんから話かけてきてくれたり受け入れてくれた事にとっても嬉しく励みになっていきます。少しずつではあると思いますが、努力勉強し園生の皆さんが充実した日々を過ごせるように又、自分自身が成長していけるように頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



「宜しく願います」

新井田 里枝

今年の七月下旬より保健員としてお世話になっていきます。インマ

ヌエルに来てまだ約二か月です。私は、皆さんのお薬をセツトしたり、病院の受診の付添いをさせていただいています。

園生の皆さんとの生活はとても楽しいですが、毎日本当に勉強の日々です。

最近一番勉強になった事は「見守る事も大切な支援」と言う事です。

何でもお手伝いするのではなく園生の方が自立してやろうとしているのを見守る事によりその人の持っている能力を伸ばしてあげられる事を知りました。

まだまだ未熟な私です。皆さんから

「先生ありがとうね」や「明日も来てね」と言われるととても励みになります。

より一層努力して園生の皆さんが毎日元気に過ごせる様に頑張りますので宜しくお願いします。



### 「自己紹介」

中谷 寿士

今年の4月から事務員としてインマヌエルに勤務している中谷です。

大学卒業後から今年の三月まで名古屋に本社のある福祉・医療系コンサルティング会社の東京事務所にて、営業及び事務として様々な案件に係ってきました。その後、いろいろな御縁により、この春からインマヌエルで働くことになりました。

前職では、自治体の担当者との折衝や様々な会議の議事録及び資料の作成に携わっていました。時

には、早朝から重い荷物の運搬を任せられ、きつい思いをすることもありました。そのおかげで、文書作成力と少々なトラブルではへこたれない気力を身に付けることができましたと自負しています。

自分のスキルをフル活用し、他の職員の方々の手がなかなか回らない部分をカバーしていきたいと思えますので、宜しくお願いします。

あと、趣味は読書とプロレス観戦です。好きな小説やプロレスラーについて語り合える人絶賛募集中！



「実習を終えての感想」

埼玉学園大学 人間学部

子ども発達学科二年

田口 莉奈

実習を終えて今一番感じている事は、利用者さん達と別れることが寂しいという事です。最初は、重度な障害を持った利用者さんと接することに、慣れておらず、どのように接したらいいかわからないまま不安でした。まずは、お話がよく出来る方から、様々な利用者さんの事について聞きました。するとやはり、長い間、共に生活をしているだけあり、利用者さん一人一人の事を詳しく教えてくれました。その方からのお話を基に、ほかの利用者さんの関わりも増やしていくことができ、本日最終日を迎え、利用者さんからも「寂しくなるね」と言ってもらえることが出来ました。利用者さん一人一人、本当に個

性があり、ある出来事一つとっても、考え方や受け止め方が異なることを学びました。職員さんはそれらにとっても気を配り、利用者さんにあつた接し方をしているようにも見えました。また、職員さんからも利用者さんについての話を伺う機会があり、私のように短い間ではとてもわからないような事まで教えていただき、とても学びにつながることが出来ました。やはり学校で教わることと、現場での様子では異なる部分も多くあり、現場へ来て、実際に体験してみなければわからないと改めて感じました。今までの私は障害を持つ方と関わる機会が少なく、その方たちに先入観を持ってしまっていました。しかし、今回実習を通して今までの自分が恥ずかしくなりました。障害を持っていても心を持ち、人々の関わりを大切に生活していることを知りました。一人一人とても暖かく接して下さり、本当に別れる事を寂しく思います。失敗してしまった事もありましたが、

インマヌエルで実習できたことをとてもうれしく感じます。2週間大変お世話になりました。ありがとうございました。



谷口昭子さん画

「実習を終えて」

聖セシリア女子短期大学

幼児教育学科一年

中嶋 晴乃

今回の実習を通して、初めて真剣に障がい者の方と向き合い生活をするという経験をしました。正直に、実習が始まったばかりの頃は怖いという気持ちが強かった。しかし、また今までに見た事のない言動をする人と出会い、驚きと戸

惑いを隠せませんでした。しかし、人と関わる上でまずは利用者の方たちを「好きにならなければ」という思いで実習を始めました。

それから日が経つにつれて、利用者の方と少しずつゆっくりと関わりを深めていく中で、「好きにならなければ」といった初めの意識とは関係なく好きだと思っっている自分に気が付きました。利用者の方たちは何の知識もなく突然やってきた私たちにたくさん声を掛けてくれ、様々なことを教えてくれました。そんな心の温かさを利用者の方たちは持つているのだと思います。そのような日々を過ごしていく中で私自身もやさしい気持ちになれたり、自然と笑顔になれたりしました。二週間という短い期間でしたが、ここで経験したことと、人の温かさを忘れずに、何事にもチャレンジしていこうと思えました。利用者及び職員の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



林忠洋さん画

「実習をして感じたこと」

聖徳大学短期大学部

保育科一年

山本 真悠子

私がこの実習を通して感じたことは、沢山あり、ひとつにするのがとても難しいのですが、心が通じ合う事、相手の事を理解し、理解される事がとても大切だと感じました。インマヌエルに来たばかりの時は言葉や気持ちがあまく伝わらなかつたり、相手の気持ちや言葉を上手く理解することが出来ない事が多く、わからない時に利用者さんは大きく手を振って表現してくれたり、口元をゆっくりと動

かして言葉を伝えてくれました。何度も繰り返し返していくうちに少しずつ理解でき、何を伝えようとしてくれていたのか分かるようになってきました。けれども良くなっていきいのに「うん」と返事をしてしまったりすると利用者さんはさびしそうな顔をします。その顔を観る時が相手の気持ちが理解できていないのに返事をしてしまった事に感じて心が痛みます。その為、私は理解できていないのに返事をするのをやめようと決め、少し勇気がいる事ですが、何度も聴いてみる事にしました。実際に聴いてみると怒る利用者さんは全然いなく、手を使ったり、物を指したりし、何度も何度も教えて下さいました。始めての事が多く、一日の流れや物の置いてある場所、ほかの利用者さんの思いなどコミュニケーションを毎日行う中で、「ここにあるよ」と言っておさつたり、歯磨き粉の場所が分からない時に「それはお風呂場にあるよ」と案内して下さつたり、とても親切な

方が多く、私が、利用者さんの気持ち  
が理解できていない時も「いつ  
もこうなるんだよ」「こうするとう  
れしいんだよ」と教えて下さった  
り、何度も助けてもらいました。ケ  
ンカをすることがあっても、話を  
聞くと本当に相手の事を思ってい  
て、心のどこかに、「いつも仲良く、  
一緒に。」という気持ちを持ってい  
るように私は感じました。また、言  
葉を話さなくとも、手を振ると手  
を振りかえしてくれる利用者さん  
もいてとてもうれしかったです。  
私はこのインマヌエルで実習がで  
き、皆さんに会えて本当に幸せで  
す。ありがとうが  
とうござい  
ました。



「実習を通して感じたこと」

富士常葉大学 保育学部

保育学科三年

佐野 幸花

今回の実習で私が思ったことは、  
人と関わる仕事は、幸せなこと  
がたくさんあると思いました。

実習生としてインマヌエルの皆さ  
んと一緒に、折り紙をしたりテレ  
ビを見たりごはんと一緒に食べ  
たり、一日生活を共にしてとても  
楽しかったです。日を重ねることに、  
皆さんのことをいろいろと知るこ  
とが出来、とても充実した毎日  
を過ごすことが出来ました。利用者  
さんと楽しく笑顔で会話が出来た  
時や行動やしぐさだけで気持ちを  
変わるようになったときはとても  
嬉しかったです。また、実習の中  
で利用者さんの支援をすることが  
ありました。その時に利用者さん  
から「ありがとう」と言われるた  
びに喜びを感じていました。利用者  
さんに関わる中で私がする何気  
ない行動や言葉にたいしても丁寧  
に感

謝の気持ちを表現してくれて何  
度も感動しました。十日間利用者  
さんに関わってたくさん楽しいこ  
とが嬉しかった。人と関わる仕事には、毎  
日こころした感動を味わうことが  
出来るのだと思いました。

十日間利用者さんと生活をして、  
皆さん本当に素直だと思いました。  
プラスの感情だけでなく、マイナ  
スの感情もすべてだして全力で職  
員の人たちと関わっていると  
思いました。それにこたえるよう  
に職員さんも自然にコミュニケー  
ションを取っているなど感じまし  
た。私も利用者さんの素直さのお  
かげで少しずつ自然に関わること  
が出来るようになりました。

今回の実習で利用者さんを沢  
山笑顔にしたいと思っていました。  
しかし、笑顔にさせてもらって  
いたのは私のほうでした。利用者  
さんの笑顔を見るたびに私も笑  
顔になれました。今回の実習を  
笑顔でおかげでした。感謝の気  
持ちでい

っばいです。  
最後に十日間実習をさせていただきありがとうございます。ここで受けた感動を忘れずに今後の実習や将来の仕事に活かしていきたいと思えます。



「実習を終えて」

鶴見大学短期大学部

保育科二年

西山 倫瑠

インマヌエルにオリエンテーションで初めて来た時に、大きな声を出している人がいたり、玄関ま

で来てくれて最初は驚きました。初めて夕食を食べる時には男子利用者の方に抱きつかれて恐怖を感じました。正直利用者の方が怖いと感じてしまい、二週間実習をやっていたのか不安でした。しかし、緊張しながらも、女子班に行っているのが実習生を歓迎してくれて安心しました。仲良くなるのに時間がかからず、利用者の方から「おねえさんどこからきたの？」などと沢山話しかけてくれてとても嬉しかったです。気付けば怖いと思うことが無くなり、寮に帰れば利用者の方のことを考え、早く会いたいと思っていました。あまり関わることの少なかった男子利用者共同スペースで会うと沢山話しかける事で、今では手を振ってきて、挨拶をしてくれました。レクリエーションでは思った以上に楽しんでくれて利用者の方々の素敵な笑顔を見ることが出来ました。実習を終えて本当に素敵な方々に出会えたと思えました。上手くコミュニケーションがとれ

なくても一生懸命気持ちを読み取ろうとすれば相手にも何か伝わるなど感じました。コミュニケーションがとれて相手が笑顔になった時は本当にうれしかったです。この十一日間は本当に貴重な経験が出来て嬉しいことがたくさんありました。難しかったことや上手くいかなかったこともありましたが、それ以上に楽しい思い出がいっぱいです。お忙しい中本当にありがとうございました。



## なんでもショップ

学園入口には『なんでもショップ』というお店があります。

古着・雑貨・利用者さんの作品をお安く販売しています。

お気軽にお立ち寄りください。



### 【営業日】

月・火・水・土・日  
10時30分～16時15分

## みいちゃんパン

2009年にオープンした手作りのパン工房。

『みいちゃんパン号』で、地域の皆さんにも、焼き立てのパンをお届けしています。ぜひ、ご賞味ください。

ご予約、配達も承っています。

## 無人販売所

学園入口左側に設置しています。

インマヌエル産の産み立ての卵、季節の新鮮野菜を販売しています。

ぜひ、ご利用ください。

## 聖誕劇

イエスキリストの降誕の喜びを聖書に忠実に、利用者さんと職員全員で演じます。

『すべての人を照らす  
まことの光があつて  
この世に来た』



皆様のお越しをお待ち申し上げます。

日時：2014年12月25日（木）

10時30分 開演

場所：障害者支援施設

インマヌエル

## ボランティアさん

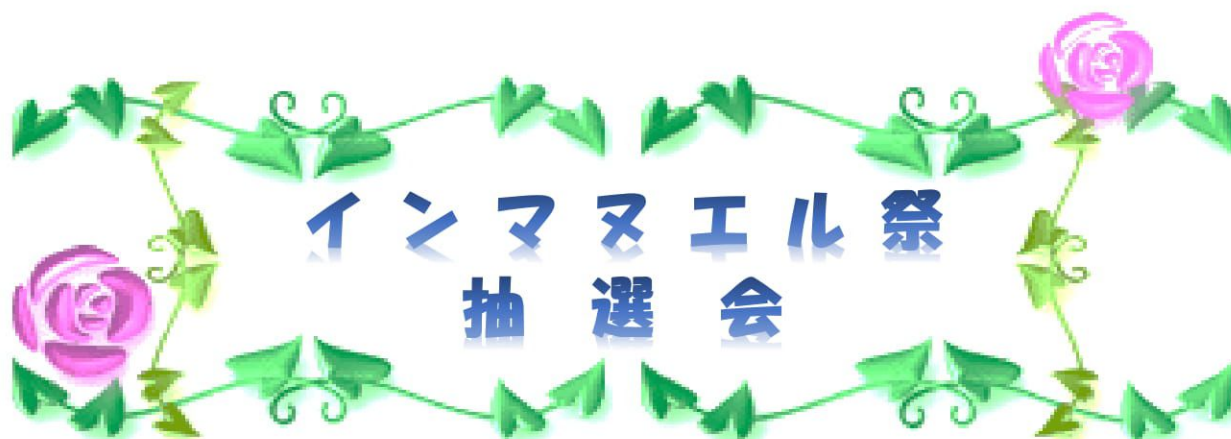
お掃除・草刈り・洗濯など、できる範囲で、お手伝いしていただけるボランティアさんを募集しています。

行事、外出などの時に応援していただける方も募っています。

施設見学も行っていますので、お気軽にご相談ください。

担当：高橋 みどり・吾妻 浩子

福永 健彦



# インマヌエル祭 抽選会

インマヌエル祭において恒例の抽選会を行います。この基金は、新東名建設に伴うインマヌエル移転の為に使用いたします。今年度も企業や個人の皆様のご厚意により、沢山の賞品が寄せられています。皆様も参加していただき、その場で当たる方法で楽しんでください。

2013年3月31日現在	【移転基金累計】	¥812,958
2014年3月31日現在	【抽選会寄付】	¥555,800
	【利息】	¥79
	【抽選会経費】	¥120,538
	【移転基金累計】	¥1,248,299



ご協力いただいた皆様



2010年～2014年（順不同・敬称略）

B-R サーティワンアイスクリーム株式会社 / 公益財団法人JKA / 愛国屋 / アサヒビール株式会社 / エイデン御殿場店 / エスパルスドリームプラザ / 極東ノート株式会社 / 株式会社甲州葡萄酒本舗 / コッコパーク / ホテル御殿場館21 / 株式会社御殿場旅行 / コンチネンタル航空株式会社 / サッポロビール株式会社 / サッポロワイナリー勝沼 / サントリー静岡 / 静岡トヨタ自動車株式会社御殿場支店 / 修善寺温泉ホテル滝亭 / スーパーレットのだまさ / すがぬま美容室 / 杉山精肉店（御殿場市保土沢） / 武田薬品工業株式会社 / つぼぐち / 長島文宝堂 / 株式会社永谷園 / 日本航空株式会社名古屋支店 / 日本たばこ産業株式会社 / ハウス食品株式会社 / 合資会社八丁味噌カクキュー / ふくふく / 富士急行株式会社 / 富士写真フィルム株式会社 / フジ日本精糖株式会社 / 株式会社まるや八丁味噌 / みどりや鮮魚店 / 武藤魚店 / 山本時計店 / ユナイテッド航空株式会社 / ロッキーイワタ

多大なる御理解と御協力、誠にありがとうございました。



# 感謝のページ

2013年9月から2014年8月末までに、インマヌエルのために多くの方々より御寄付を頂きました。本当にありがとうございました。

## 寄付金 (順不同 敬称略)

足立溪子 / 安倍敏子 / 石井一裕 / 石塚計志 / 碓井日出夫 / 大久保貞夫 / 大野由夏 / 岡部久子 / 奥野美智子 / 尾崎祐三 / 小野和枝 / 小畑城二 / 河西敏子 / 金子澄夫 / 北川平司 / 小林洋一 / 駒野稔 / 佐伯信恵 / 坂本直司 / 提箸一男 / 嶋崎篤子 / 清水正次 / 高尾桂子 / 高田村子 / 武田武士 / 多田香澄 / 寺田眞由美 / 富田美樹子 / 内藤千鶴子 / 長島明子 / 橋本甲子夫 / 東牧子 / 土方利子 / 堀内昇 / 堀野寛 / 松平法子 / 三浦文子 / 三沢春雄 / 村田勝利 / 山口俊子 / 山崎昌子 / 湯山里枝 / 吉田孝子 / 渡辺樹 / 加藤 / 真野 / 株式会社大瀬戸商店 / 杉山精肉店(御殿場市保土沢) / 杉山精肉店(小山町須走) / 武藤魚店 / 社会福祉法人寿康会徳風園

## ボランティア (順不同 敬称略)

宇津木里欣 / 山田将人 / 沼津ウィンド・アンサンブル (代表 市川公彦) / YASZEN



## 寄付物品 (順不同 敬称略)

- 自動車：国際福祉協会 (ILBS)



- 車椅子：東京善意銀行



- ヤクルト：東静岡ヤクルト販売株式会社
- 紙おむつ：永井薬局
- 灯油券：一色郷栄会
- 雑巾：北郷婦人部
- クリスマス屋外イルミネーション：伊倉幸三
- 衣類・雑貨：多くの方々から寄付を頂いております。



編 集 古根村安紀・吾妻浩子・床枝修一・反田隆美  
福永健彦・田辺あん名・竹内麻友実

2014（平成26）年11月24日発行（年1回発行）

発行部数 700部 通巻32号

発行責任者 施設長 舟木昭夫

発行場所 社会福祉法人 婦人の園 障害者支援施設 インマヌエル  
〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神 356-7

TEL 0550(78)1260 FAX 0550(78)1262

<http://fujinnosono.jp/>

E-mail:LSPimmanuel@hkg.odn.ne.jp